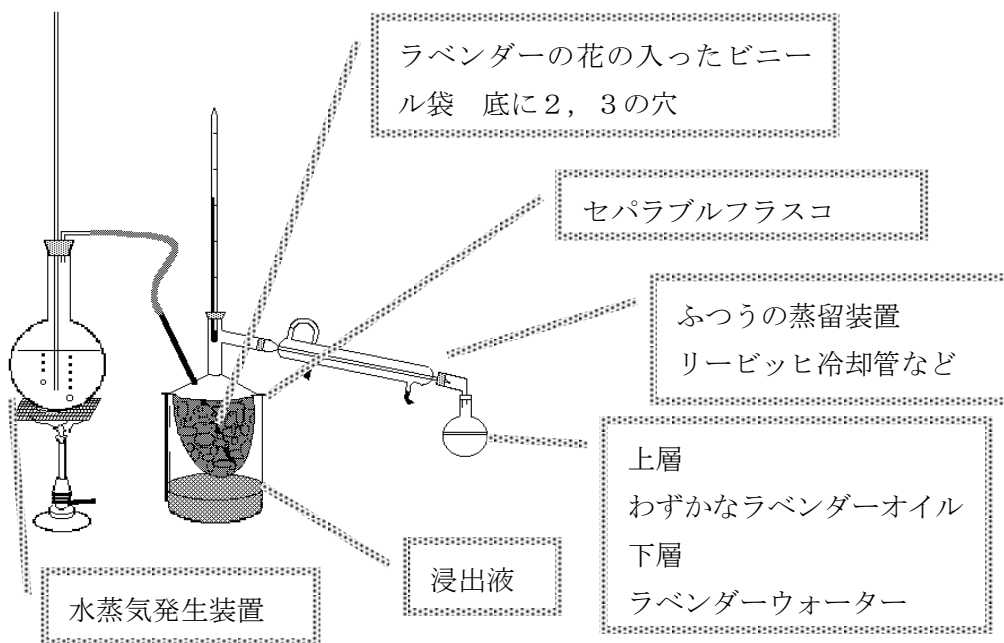


B-14

ラベンダーオイル

じょうりゅうそうちりりょう 蒸留装置を利用してラベンダーのアロマオイル（ラベンダーオイル）を取り出してみました。この方法

すいじょうきじょうりゅう 水蒸気蒸留 といひ、こらい 古来よりアロマオイルの抽出に使われてきました。



【ラベンダーとわたしたちの暮らし】

ラベンダーオイルとラベンダーウォーターの使い方

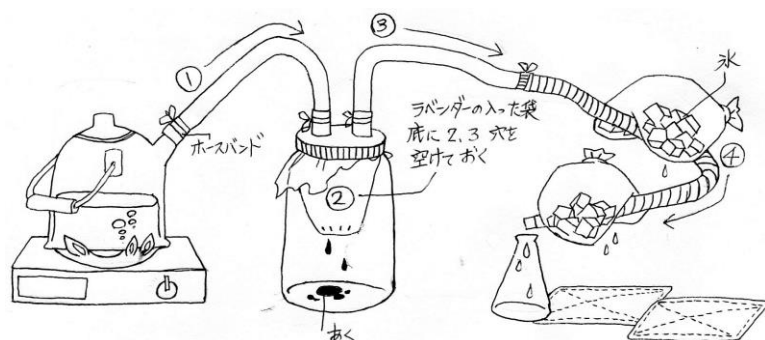
ひや 日焼けした肌には 虫除けと虫刺されに せきやのどに痛みに 眠れないときに 汗をかいたときに 足の臭い取りに 部屋の消臭と香りのために 衣服の臭い取りとしわの伸ばしに

ラベンダーは鎮静作用、神経を休める働きがあるそうです。また、皮膚の再生を促します。かつて、古代ローマでは、傷の手当てにラベンダーを浴槽に入れて沐浴していたといわれています。ラベンダーオイルは多くのハーブオイルの中で副作用が少なく、使いやすいオイルです。得られるラベンダーオイルはわずかですが、ラベンダーウォーターの中にも有効な成分が多く含まれています。適度な芳香と穏やかな作用を持ちますから、オイルより使いやすくなります。



家庭でできる蒸留装置 水蒸気蒸留の装置をホームセンター

で集めた材料で作ってみました。保存ビン、水道管、ホースなど使いました。ヤカンによる水蒸気の発生装置はけっこう強力です。

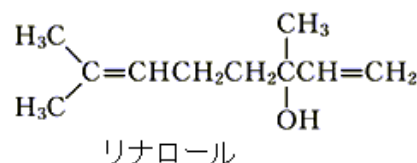


水蒸気蒸留 沸点の高いオイルが水蒸気の存在下では低い濃度で蒸発するようになります。水蒸気の圧力とオイルの蒸気の圧力の合計が大気圧になるため、水蒸気が存在することで容器内の圧力を減らすことと同じになり、減圧蒸留と同様の結果になることです。簡単

単に言えば、純粋なオイルと水蒸気の混じったオイルは沸点が異なるということです。詳しい理論と実験方法は大学で学びます。

ラベンダー [Lavender] シソ科ラベンダー属。コモン・ラベンダーの学名は *Lavandula angustifolia*。ヨーロッパ南部原産。コモン・ラベンダー(トゥルー・ラベンダー)は地中海地域の低木のような多年草。

ラベンダー油 [lavender oil] 酢酸リナロールが主成分、ほかにリナロール、ピネン、シネオールおよび他のリナロールエステルを含む。リナロールと酢酸リナロールで 50~97%。無色または帯黄色の液体で灼くような味をもち、空気および日光により変質しやすい。



リナロール [linalool] $\text{C}_{10}\text{H}_{18}\text{O}$ リナロオールともいう。非環式モノテルペンに属するアルコール。スズランに似た香気をもつ無色の液体。

沸点 87~88°C (12Torr, 0.016atm)。

【くわしく知るために】 アロマオイル、アロマセラピーなどの本は多くありますが、ここの資料は化学のテキストや理化学辞典をもとにまとめました。